

# 水道事業会計

## 水道事業会計〔上下水道事務所 上下水道課 所管〕

### 1. 概要

守谷市の水道事業は、昭和46年に旧守谷地区の一部を給水区域として簡易水道事業が発足した。昭和53年には上水道事業に移行し、順次給水区域を拡大して、昭和63年3月には配水管網の整備を完了した。その後も安定給水のため取水施設や配水施設を整備し、現在に至っている。

平成29年度も、茨城県企業局が行う県南広域水道用水供給事業（利根川浄水場）からの浄水受水と、井戸から汲み上げた地下水を浄水して、安定した給水に努める。水道施設の運転・維持管理については、引き続き民間企業による包括管理で行う。さらに、上水道管路台帳及び設備台帳を活用した効率的な施設の維持管理に努めるとともに、計画的に鉛製給水管や石綿管の布設替工事を実施する。

また、将来にわたり水道事業を安定的に運営するための目指すべき方向性等を示した「新水道ビジョン」及び施設の改築更新・耐震化対策を計画的に行うための財政収支計画を含む「経営戦略」の策定に取り組む。

### 2. 収益的収入及び支出

(収入)

(単位：千円，%)

款	項	平成29年度	構成比	平成28年度	構成比	増減額	増減率
水道事業収益	営業収益	1,370,862	86.0	1,357,521	84.5	13,341	1.0
	営業外収益	222,987	14.0	249,087	15.5	△26,100	△10.5
	特別利益	3	0.0	3	0.0	0	0.0
収入合計		1,593,852	100.0	1,606,611	100.0	△12,759	△0.8

(支出)

(単位：千円，%)

款	項	平成29年度	構成比	平成28年度	構成比	増減額	増減率
水道事業費用	営業費用	1,516,073	96.6	1,515,256	96.3	817	0.1
	営業外費用	49,987	3.2	53,002	3.4	△3,015	△5.7
	特別損失	974	0.0	1,082	0.1	△108	△10.0
	予備費	3,000	0.2	3,000	0.2	0	0.0
支出合計		1,570,034	100.0	1,572,340	100.0	△2,306	△0.1

### 3. 資本的収入及び支出

(収入)

(単位：千円，%)

款	項	平成29年度	構成比	平成28年度	構成比	増減額	増減率
資本的収入	他会計補助金	300	100.0	150	6.9	150	100.0
	他会計負担金	0	0.0	775	35.5	△775	皆減
	工事負担金	0	0.0	1,260	57.6	△1,260	皆減
収入合計		300	100.0	2,185	100.0	△1,885	△86.3

(支出)

(単位：千円，%)

款	項	平成29年度	構成比	平成28年度	構成比	増減額	増減率
資本的支出	建設改良費	275,696	96.0	220,027	93.3	55,669	25.3
	企業債償還金	11,366	4.0	15,715	6.7	△4,349	△27.7
支出合計		287,062	100.0	235,742	100.0	51,320	21.8

【収益的収入】

1 営業収益

○給水収益 1,279,477千円(1,278,246千円) 予算書 P351

区 分		平成 29 年度	平成 28 年度	増 減 額	増減率(%)
総 調 定 件 数	件	161,550	158,440	3,110	2.0
内 訳	定 例 分	159,210	156,100	3,110	2.0
	随 時 分	2,100	2,100	0	0.0
	仮 設 分	240	240	0	0.0
総有収水量(A)	m <sup>3</sup>	6,305,400	6,301,600	3,800	0.1
内 訳	定 例 分	6,291,000	6,287,200	3,800	0.1
	随 時 分	12,000	12,000	0	0.0
	仮 設 分	2,400	2,400	0	0.0
予 算 額 (B)	千円	1,279,477	1,278,246	1,231	0.1
内 訳	定 例 分	1,275,708	1,274,476	1,232	0.1
	随 時 分	3,045	3,045	0	0.0
	仮 設 分	724	725	△1	△0.1
供給単価(B/A)	円	202.92	202.84	0.08	0.0

\* 積算根拠

定例分 6,291,000m<sup>3</sup>×202.78円(供給単価)≒1,275,708千円

※定例分の積算結果は、供給単価の一銭未満を切り捨てているため差異が生じます。

随時分 12,000m<sup>3</sup>×253.80円(供給単価)≒ 3,045千円

仮設分 2,400m<sup>3</sup>×302.00円(供給単価)≒ 724千円

○受託事業収益 39,230千円(0千円) 予算書 P351

(単位：千円)

区 分	平成 29 年度	平成 28 年度	増 減 額	増減率(%)
下水道使用料徴収事務受託収入 (事務経費の1/2負担)	39,230	38,665	565	1.5
上下水道料金徴収事務経費	78,460	77,330	1,130	1.5
参考： 水道事業会計負担分 (事務経費の1/2負担)	39,230	38,665	565	1.5

※平成28年度までは、その他営業収益(下水道使用料徴収事務受託収入)で予算計上。

\* 積算根拠

上下水道料金納付書郵送料 4,448,537円×1/2≒ 2,224千円

上下水道料金徴収委託料 68,247,360円×1/2≒34,124千円

コンビニ収納委託料 1,635,033円×1/2≒ 818千円

クレジット収納委託料 2,233,656円×1/2≒ 1,117千円

口座振替手数料 1,894,688円×1/2≒ 947千円

2 営業外収益

○分担金収入 62,640千円(91,260千円) 予算書 P351

区 分	平成 29 年度	平成 28 年度	増 減 額	増減率(%)
新 規 加 入 者	290	250	40	16.0
開 発 業 者 等	0	212	△212	皆減
予 算 額	62,640	91,260	△28,620	△31.4

\* 積算根拠

新規加入者 250箇所×216,000円(口径20mm)=54,000千円

マンション 40箇所×216,000円(口径20mm)=8,640千円

## 【収益的支出】

### 1 営業費用

#### ○原水及び浄水費 703,425 千円 (702,010 千円) 予算書 P352

[水道事業収益：703,425 千円]

##### (目的及び期待する効果)

利根川浄水場からの浄水受水と地下水浄水により、水道水を安定的に確保する。

##### (内容)

年間契約水量に基づき、利根川浄水場から浄水を受水する。また、浄水施設の運転管理、維持管理を包括管理委託により効率的に行うとともに、地下水（井戸水）浄水の水質検査を行う。

(1) 委託料	浄水場包括管理委託料	75,404 千円
	排水池汚泥清掃委託料	14,580 千円
	水質検査委託料	3,312 千円
(2) 受水費	基本料金	334,368 千円 (契約水量 20,000m <sup>3</sup> ×1,290 円/m <sup>3</sup> ×12 月×1.08)
	使用料金	269,633 千円 (使用水量 15,200m <sup>3</sup> /日×45 円/m <sup>3</sup> ×365 日×1.08)
(3) 修繕費	取水施設修繕費	400 千円
	包括管理修繕費	5,649 千円
(4) 賃借料	井戸用地借上料	79 千円

#### ○配水及び給水費 224,113 千円 (230,792 千円) 予算書 P353

[その他：36,353 千円 水道事業収益：187,760 千円]

##### \*その他積算根拠

[負担金：消火栓維持管理負担金 36,353 千円]

##### (目的及び期待する効果)

配水・送水施設等を適正に管理して、水道水を安定的に供給する。また、定期的な水質検査を行い、水道水の安全性を確保する。

##### (内容)

配水池・配水ポンプなどの配水・送水施設の運転管理、維持管理を包括管理委託により効率的、かつ効果的に行う。また、引き続き消火栓や鉛製給水管の取替え及び電子化した上下水道管路台帳を適正に管理して、効率的な維持管理と水道水の定期的な水質検査を行う。

(1) 委託料	浄水場包括管理委託料	55,370 千円
	水質検査委託料	4,741 千円
	上下水道管路管理システム委託料	5,109 千円
	給水管設計委託料	4,968 千円
(2) 修繕費	配水管等修繕費	41,549 千円
	給水管維持修繕費	55,718 千円
	(給水管布設替工事を含む。)	
	量水器購入費	22,915 千円
	量水器取替費	13,321 千円
	包括管理修繕費	15,067 千円
(3) その他	材料費ほか	5,355 千円

#### ○受託事業費 39,230 千円 (0 千円) 予算書 P353

[その他：39,230 千円]

##### \*その他積算根拠

[受託事業収益：下水道使用料徴収事務受託収入 39,230 千円]

##### (目的及び期待する効果)

下水道使用料徴収事務に係る経費負担を明確に区別することにより、適正な経理を行う。

##### (内容)

料金徴収委託料の経費のうち、公共下水道会計及び農集排特別会計が負担する額を計上する。

(1) 委託料	下水道使用料徴収事務受託委託料	39,230 千円
---------	-----------------	-----------

○総係費 160,458千円(196,664千円) 予算書 P353

[その他:12,323千円 水道事業収益:148,135千円]

\*その他積算根拠

[負担金:事業運営経費負担金 12,083千円]

[補助金:児童手当給付補助金 240千円]

(目的及び期待する効果)

確実な料金徴収事務と適正な経理を行う。また、事業計画等に基づき安定した事業の継続と効率的な運営を図る。

(内容)

事業経営に必要な委託料、電気料、物件費及び人件費等の経費を計上する。

(1) 委託料	上下水道料金徴収委託料	34,124千円
	設備台帳管理システム委託料	4,980千円
	水道計画策定委託料	11,416千円
	その他委託料	6,470千円
(2) 手数料	上下水道料金口座振替手数料ほか	960千円
(3) 動力費	浄水場電気料	28,771千円
(4) その他	職員給与費ほか	73,737千円

2 営業外費用

○支払利息 1,796千円(2,411千円) 予算書 P358

[水道事業収益:1,796千円]

(単位:千円)

区 分	平成28年度末 残高見込額 (利息)(A)	平成29年度償還額			平成29年度末 残高見込額 (利息)(A-B)
		元金	利息(B)	計	
上水道事業債	8,054	11,366	1,796	13,162	6,258

3 特別損失

○過年度損益修正損 973千円(1,081千円) 予算書 P358

[水道事業収益:973千円]

(目的及び期待する効果)

水道料金等の債権を適正に管理する。

(内容)

事実の発生に基づき、決算された収入額を減額修正し、収納状況に応じて還付する。

・過年度調定修正額	水道料金	324千円
	分担金	648千円
・貸倒損失		1千円

【資本的支出】

1 建設改良費

○上水道建設費 273,581千円(217,401千円) 予算書 P359

[その他:300千円 積立金:196,962千円 過年度分損益勘定留保資金等:76,319千円]

\*その他積算根拠

[補助金:児童手当給付補助金 300千円]

(目的及び期待する効果)

水道利用者に対して安全・安心な水道水を継続的に供給するため、水道施設の建設又は改良を行う。

(内容)

水道利用状況や配管の整備状況を踏まえ、配水管の布設工事を実施する。また、配水管の耐震性強化のため、石綿管の布設替工事を実施する。

(1) 委託料	実施設計委託料	16,287 千円
(2) 工事請負費	配水管布設工事費	5,292 千円
	配水管布設替工事費	241,409 千円
(3) その他	職員給与費ほか	10,593 千円

## 2 企業債償還金

○企業債償還金（元金） 11,366 千円（15,715 千円） 予算書 P360

[積立金：559 千円 過年度分損益勘定留保資金：10,807 千円]

(単位：千円)

区 分	平成 28 年度末 残高見込額 (元金) (A)	平成 29 年度償還額			平成 29 年度中 借入予定額(C)	平成 29 年度末残 高見込額(元金) (A-B+C)
		元金(B)	利息	計		
上水道事業債	65,660	11,366	1,796	13,162	0	54,294

企業債の借入利率別現在高の状況（平成 29 年度末見込・元金）

区 分	1.0%以下	1.5%以下	2.0%以下	2.5%以下	3.0%以下	3.5%以下	4.0%以下
残 高(千円)	0	0	9,232	17,366	11,136	12,490	0
件 数 (件)	0	0	4	7	5	3	0
区 分	4.5%以下	5.0%以下	5.5%以下	6.0%以下	6.5%以下	6.5%超	計
残 高(千円)	0	4,070	0	0	0	0	54,294
件 数 (件)	0	2	0	0	0	0	21